NIE実践報告

1．タイトル：☆生徒の社会に対する視野を広げ、自分の考えを表現する力を鍛える

2．学校名

和歌山県新宮市立熊野川中学校

3．実践者名（代表者名）

山口　康平

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学活・社会・ホームルーム　13人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読み、自分の考えを発信しよう

7．目標(狙い)

新聞を読む力・新聞活用力を身につけ、自分の考えを表現し発信する。

8．評価の視点

新聞の切り抜きで必要な情報を集め、記事の内容についてコメントを述べることができる。読者に分かりやすい文章で新聞記事を書くことができる。意見文を書き、自分の考えを発信することができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①ガイダンス　新聞の読み方（1時間・学活）②新聞記事に目を向けよう（ホームルーム）
③新聞記事を書いてみよう（2時間・学活）④意見文を投稿しよう（2時間・社会「世界平和のために」）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①ガイダンス　新聞の読み方（1時間）
◆実際の新聞記事を見て、「中国製ミルク・メラミン混入事件」の発生から数日間にどのような報道されたかを追いかける。日本の新聞、中国の新聞、英字新聞の報道内容を比較する。
②新聞記事に目を向けよう（ホームルーム）
◆日直がその日の新聞記事の中から最も関心をもった記事を切り抜き、記事の内容と自分のコメントを紹介する。切り抜きはスクラップノート（前期）と教室の掲示板（後期）に貼るようにした。
③新聞記事を書いてみよう（2時間）
◆校内マラソン大会について、読者に分かりやすい文章で新聞記事を書く。５W１Hを明確にし、友達へのインタビューコメントを記事に挿入する。
④意見文を投稿しよう（2時間）
◆公民で勉強した「地球環境問題」「児童労働」などのテーマで意見文を書き、新聞に投稿する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

公民の時間に学んだ内容に関連する記事や修学旅行で学んだ平和に関する記事を切り抜くなど、学校での学びと実際の社会の問題を主体的につなげていく姿勢が見られた。取り組みを続けるうちに社会的な問題に対する意識が高まり、意見文を意欲的に書く生徒が多かった。

12．成果と課題

新聞の読み方、活用の仕方をガイダンスで扱い、自分で切り抜きをさせたことで、まずは新聞に親しむ習慣がついた。これまで社会科の授業だけでは到達できなかったレベルまで生徒の社会問題に対する意識が高まり、意見文の意欲的な執筆やユニセフの活動への協力など、生徒の社会参加の動きが盛り上がった。